

# 再生 短信

2014 - 2018 < 霊山センター > の日々

## 感謝 そして 希望



2023年6月、田尾さんから一報あり。再生の会がお借りしていた通称「霊山センター」の建物

群が撤去されるとのこと。2014年にタイムスリップ、広大な敷地に溪流あり森あり、宿泊・食

事施設完備・談論風発の夕餉のひとつとき、村民のみなさんとの集い、そしてあるときは村民との協働による土壌測定バイアル詰め作業、それは「桃源郷」そのものでした(写真1、2、3、4、5、6)。

正門の表札「小児慢性疾患療育研究所」・「霊山トレーニングセンター診療所」のすぐ傍に立つ「開所記念之碑」から。

「慢性小児疾患療育研究所 霊山トレーニングセンター」は慢性疾患をもつ小児が自分で病気をコントロールし病気と共に生きて行くためのセルフケアおよびホームケアを教育するための施設として斯界で始めて設立されたものである。

昭和56年7月26日 昭山56年7月26日 センター所長 丸山 博

顧問 小泉 春雄

発端は、2014年7月17日、施設の主人・NPO 法人小児慢性疾患療育会、理事長・丸山博先生を田尾さんが訪問し施設の借用を申し入れ即快諾されたのです。

こうして誠に理想的な「公共空間(田尾さん)



よる)が実現したので。霊山で育まれた再生のDNAは2019年の風と土の家(写真7)、2022年の図画倉庫(スットソーコ)(写真8)の誕生へと継承されてゆきます。

2023年2月、霊山で日々お世話になった菅野佳子さん、同月いちばん身近なところで応援をいただいていた菅野榮子さんの訃報が伝えられました、ただただ感謝あるのみ。 合掌

(写真1、2、3、4、5、6は田尾陽一さん提供、写真7、8と文責は若林一平)